

2026年2月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウィル・ドウ

コード番号 5617 URL <https://www.willdo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 澤田 真一

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 島田 貴代 TEL 0596（64）8280

中間発行者情報提出予定日 2025年11月28日 配当支払開始予定日 -

中間決算補足説明資料作成の有無：無

中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期中間期の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	366	15.8	90	115.7	90	116.3	59	116.2
2025年2月期中間期	316	5.0	41	△3.0	41	△2.6	27	△2.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	298.93	-
2025年2月期中間期	138.29	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期中間期	610	343	56.2
2025年2月期	543	283	52.2

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 343 百万円 2025年2月期 283 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	0.00	0.00	0.00
2026年2月期	0.00		
2026年2月期 （予想）		-	-

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	797	22.7	151	81.5	150	44.7	105	46.7	527.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	200,000株	2025年2月期	200,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	一株	2025年2月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	200,000株	2025年2月期中間期	200,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の拡大もあり、緩やかな回復傾向が続いております。一方で世界的な資源価格の高騰や過度な円安の進行等、先行きが不透明な状況が続いております。

美容業界においては、来店数の増加、値上げによる顧客単価の上昇など売上増に繋がる要素が見られる一方、引き続き慢性的な人手不足、各種仕入コストの上昇等の懸念もあり、注視が必要な状況となっております。

このような環境の中、より効率的でデータドリブンなサロン経営への取り組みは推進され、当社が属する SaaS（注）業界への期待、重要性はますます高まっており、業界のデジタル化は継続して加速しております。

当社は美容業界向け顧客管理システム「Salons Solution」、電子カルテサービス「ペンギンカルテ」、電子契約書サービス「けいやくくん」を提供しておりましたが、新たにエステティックサロン等美容サロンでのカウンセリングをサポートするサービスとして「AI 肌診断 skinsense」の提供を開始いたしました。「AI 肌診断 skinsense」は株式会社 Novera の提供する「skinsense」を美容事業者向けに開発し、400 名の美容部員の知見を学習したプロ仕様の客観的な AI 肌診断でカウンセリング業務を強力にサポートするサービスです。

「Salons Solution」においては予約関連機能の改善、二要素認証の採用によるセキュリティ強化を実施いたしました。

また、店頭以外での売上創出を支援するため、株式会社ビューティーガレージが提供する EC プラットフォーム Salon.EC と連携する「Salon.EC 連携」、美容事業者がメーカーとの受発注業務の手間を軽減するため、企業の受発注、入在庫、在庫管理を丸ごと解決するオールインワン型クラウドソフトを無償提供する Spes 株式会社との業務提携を開始し、企業の受発注、入在庫、在庫管理を行える多機能クラウドソフト「Spes（スペース）」との連携を開始いたしました。

電子カルテサービス「ペンギンカルテ」においては「Salons Solution」同様、二要素認証の追加等セキュリティ強化のためのアップデートを実施いたしました。

電子契約書サービス「けいやくくん」においてはスタッフごとの書面閲覧権限を細分化する等、セキュリティ強化のためのアップデートを実施いたしました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は 366,883 千円（前年同期比 15.8%増）、営業利益は 90,098 千円（同 115.7%増）、経常利益は 90,242 千円（同 116.3%増）、中間純利益は 59,785 千円（同 116.2%増）となりました。

なお、当社は単一セグメントのため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

（注）インターネットを經由してユーザが利用できるソフトウェアの開発、提供を行う事業

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の財政状態につきましては、次のとおりです。

（資産の部）

総資産は610,183千円（前期末比67,123千円増）となりました。流動資産につきましては、373,843千円（同62,315千円増）となりました。これは主に、現金及び預金の増加72,846千円及び前払費用の減少11,762千円等によるものです。固定資産につきましては、236,339千円（同4,807千円増）となりました。これは主に、有形固定資産の減少2,420千円及び無形固定資産の増加7,190千円等によるものです。

（負債の部）

総負債は267,147千円（前期末比7,337千円増）となりました。流動負債につきましては、194,027千円（同12,377千円増）となりました。これは主に、未払金の増加8,061千円および未払法人税等の増加6,379千円及び契約負債の減少4,316千円等によるものです。固定負債につきましては、73,120千円（同5,040千円減）となりました。これは、長期借入金の返済による減少5,040千円によるものです。

（純資産の部）

純資産につきましては343,035千円（前期末比59,785千円増）となりました。これは、中間純利益の計上による利益剰余金の増加59,785千円によるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は247,921千円（前期末比66,827千円増）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は88,754千円（前年同期は55,689千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益90,242千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は16,887千円（前年同期は8,120千円の使用）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出10,867千円及び定期預金の預入による支出6,019千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5,040千円（前年同期は10,040千円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出5,040千円によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の通期の業績予想につきましては、2025年4月14日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025 年 2 月 28 日)	当中間会計期間 (2025 年 8 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	246,698	319,545
売掛金	6,184	6,932
商品	629	762
仕掛品	244	118
前払費用	23,562	11,799
未収入金	34,091	34,629
その他	117	55
流動資産合計	311,527	373,843
固定資産		
有形固定資産		
建物	79,423	79,423
減価償却累計額	△4,250	△6,211
建物（純額）	75,173	73,211
構築物	5,027	5,027
減価償却累計額	△272	△398
構築物（純額）	4,755	4,629
工具、器具及び備品	3,601	3,601
減価償却累計額	△1,138	△1,471
工具、器具及び備品（純額）	2,463	2,130
土地	30,612	30,612
有形固定資産合計	113,004	110,584
無形固定資産		
ソフトウェア	12,291	24,293
ソフトウェア仮勘定	9,197	4,386
無形固定資産合計	21,489	28,680
投資その他の資産		
繰延税金資産	11,275	11,275
長期前払費用	610	647
敷金及び保証金	296	296
保険積立金	84,854	84,854
投資その他の資産合計	97,037	97,074
固定資産合計	231,531	236,339
資産合計	543,059	610,183

(単位：千円)

	前事業年度 (2025 年 2 月 28 日)	当中間会計期間 (2025 年 8 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
1 年内返済予定の長期借入金	10,080	10,080
未払金	30,351	38,412
未払費用	766	896
未払法人税等	24,077	30,456
未払消費税等	20,188	17,616
契約負債	83,394	79,078
預り金	7,679	11,506
賞与引当金	5,112	5,979
流動負債合計	181,650	194,027
固定負債		
長期借入金	78,160	73,120
固定負債合計	78,160	73,120
負債合計	259,810	267,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	273,249	333,035
利益剰余金合計	273,249	333,035
株主資本合計	283,249	343,035
純資産合計	283,249	343,035
負債純資産合計	543,059	610,183

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2024年 3 月 1 日 至 2024年 8 月31日）	当中間会計期間 （自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月31日）
売上高	316,694	366,883
売上原価	40,421	35,802
売上総利益	276,272	331,080
販売費及び一般管理費	234,509	240,981
営業利益	41,762	90,098
営業外収益		
受取利息	13	223
匿名組合投資利益	329	426
その他	9	-
営業外収益合計	352	649
営業外費用		
支払利息	372	505
社債利息	21	-
営業外費用合計	393	505
経常利益	41,722	90,242
税引前中間純利益	41,722	90,242
法人税、住民税及び事業税	14,064	30,456
法人税等合計	14,064	30,456
中間純利益	27,657	59,785

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年 3 月 1 日 至 2024年 8 月31日)	当中間会計期間 (自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	41,722	90,242
減価償却費	5,959	6,097
賞与引当金の増減額 (△は減少)	385	867
受取利息及び受取配当金	△13	△223
支払利息	372	505
社債利息	21	-
匿名組合投資損益 (△は益)	△329	△426
売上債権の増減額 (△は増加)	4,055	△748
棚卸資産の増減額 (△は増加)	192	△7
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,412	△537
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,088	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12,196	△2,571
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,734	△4,316
その他	14,376	24,232
小計	75,879	113,114
利息及び配当金の受取額	13	223
利息の支払額	△393	△505
法人税等の支払額	△19,810	△24,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,689	88,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△2,599	△10,867
定期預金の預入による支出	△6,001	△6,019
その他	480	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,120	△16,887
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,040	△5,040
社債の償還による支出	△5,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,040	△5,040
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,529	66,827
現金及び現金同等物の期首残高	137,527	181,094
現金及び現金同等物の中間期末残高	175,056	247,921

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

（セグメント情報）

当社は、Salons Solution事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。